

研究実績報告書(中間・完了)

助成種別	一般	特別
	奨励	学術調査

(公財)岡山工学振興会

代表理事 古賀 隆治 殿

平成 年 月 日

(所属機関名)

(申請者名)

印

研究題目		
研究機関		
共同研究者	氏 名	所属機関(職名)
研究題目についての研究発表	発表した学協会名と期日	発表した会誌等
研究概要	別紙添付	

1. 研究機関に応じ、報告書の中間・完了のいずれか該当のものを○で囲ってください。
2. 助成種別の該当事項を○で囲ってください。

研究助成金支出実績報告書

平成 年 月 日

(公財)岡山工学会
代表理事 古賀 隆治 殿

(所属機関名)

(申請者名)

⑩

(単位：円)

年 度	研究助成額	支 出 内 訳					
		設備備品費	消耗品費	旅 費	謝 金	その他	計
第1年度							
第2年度							
計							
主要支出内訳 (種目別に具体的に記入のこと)							
区 分	内 訳			金 額	備 考		
設備備品費							
	計						
消耗品費							
	計						
旅 費							
	計						
謝 金							
	計						
その他							
	計						

研究成果報告書作成要領

研究成果報告書は次の要領により作成してください。

なお、ご提出くださいました報告書に基づき、ANNUAL REPORT（年報）を作成いたしますので、ご協力をお願いいたします。

1. 報告書の規格

B5 版ヨコ書きとし、1 頁の標準字数はヨコ 35 字タテ 30～33 行程度にまとめてください。（A4・英文も可）

フロッピーまたはメールでお願いします。

2. 頁数

報告書の頁数は奇数頁となるようご配慮ください。

研究種目別の頁数は次の標準頁数をもとに作成してください。

種 別	頁 数	備 考
特別研究	13P～21P	図表、数式等を含む
一般研究	7P～13P	
奨励研究	5P～7P	

3. 報告書の作成形式

最初の 1 頁には、研究課題（和文・英文）、代表研究者（和文・英文）、ABSTRACT 等の順に作成してください。

4. 論文等として発表（投稿）された課題について

論文等として発表または投稿された時は、これをもって報告書にかえることができます。（主なもので、印刷は鮮明なものをお願いします。）ただし、研究課題（和文・英文） 代表研究者（和文・英文） ABSTRACT（英文） は必ず添付してください。

※頁を記してください。

5. 研究計画と研究結果との関連について

研究は申請時の目的や予測された事象との間に一致を見たのか、従来の定説に対し新たな発見があったのか、その研究には期待した効果があったのか等、当初の研究計画と研究結果との関連について考察されたことを付言していただければ幸いです。

6. ANNUAL REPORT（年報）の印刷については、ご提出くださいました研究成果報告書を原稿として写真製版いたしますので、お含みおきください。

水素による半導体中の～（和文研究課題）
Chemical etching-induced defects ～（英文研究課題）

代表研究者 岡山大学工学部 教授 岡山 一郎 Itiro Okayama, Okayama Univ.
共同研究者 岡山大学工学部 講師 岡山 二郎 Jiro Okayama, Okayama Univ.
共同研究者 岡山大学工学部 助手 岡山 三郎 Saburo Okayama, Okayama Univ.

ABSTRACT（英文）

緒言（はじめに、序、まえがき）

・
・
・

結言（あとがき、まとめ、おわりに）

参考文献

発表論文等

※過年度の財団年報をご参考ください。